

感染症危機管理リーダーシップ研修開始

(寄稿)企画戦略局 研究医療部 研究開発連携室 佐藤 瞳

厚生労働省委託事業である感染症危機管理対応を行う地域のリーダーシップ人材育成のための研修の開会式が国立国際医療研究センターにて行われました。



<開会式>

2025年1月21日、研修の開会式が執り行われ、16名の研修生が参加しました。開会式では、国立国際医療研究センター國土理事長からの開会の挨拶に続き、厚生労働省 感染症対策部の鷲見部長からは、次の感染症危機に向けた人材育成の重要性と、研修への期待が語られました。



国立国際医療研究センター
理事長 國土 典宏 先生

研究から事業へ

感染症危機管理リーダーシップ研修がいよいよ始動します。

昨年度は、厚生労働科学研究として、感染症危機時にどのような人材が求められるのかを明確にするため、専門家の協力を得てコンピテンシーを策定し、必要な研修資材の作成を進めてきました。今年度は事業において、

当該研究などの成果を生かし、研修が実施されます。

研修で得た知識とスキルを活かし、有事の際には実践的なリーダーシップを発揮し、地域の感染症危機管理の向上に貢献していただきたいと期待しています。

コロナの教訓を活かし、次の対応へ

新型コロナウイルスのパンデミックを通じ、地域ごとに感染状況や医療資源の違いがあることが明確になり、適切な対策の重要性を認識しました。その中で、行政や医療機関等と適切な調整ができるリーダーシップを発揮できる人材が必要だと感じています。

研修生の皆さんには、意思決定や関係機関との調整、リーダーシップのマネジメントなど、実践的な知識とスキルを習得し、分野横断的な能力・知識を学んでほしいと思います。初めての取り組みのため、ぜひ皆さんの意見を反映しながら、この研修をさらに進化させていきたいです。



厚生労働省 感染症対策部長
鷲見 学 先生

コンピテンシー

地域の感染症危機管理においてリーダーシップを発揮できる人材に求められる能力としてコンピテンシーを定義。本研修ではこのコンピテンシーの習得を目指します。

厚生労働省委託事業 感染症危機管理リーダーシップ人材育成モデル事業

感染症危機管理リーダーシップ研修：目的とコンピテンシー

2025.01.21

「新型インフルエンザ等対策政府行動計画（令和6年7月2日）p43」

感染症危機管理の対応能力を向上させるためには、**平時から、中長期的な視野に立って感染症危機に関わる人材育成**を継続的に行うことが不可欠

地域の感染症危機管理において **リーダーシップを発揮できる人材** に求められる能力（コンピテンシー）

大項目4 中項目11

○ 感染症危機時において、迅速に戦略と方針を決定し、実行する能力

- ・ 戦略策定・意思決定する能力
- ・ 課題を明らかにし解決する能力
- ・ 合意形成に導く能力
- ・ リスクコミュニケーション能力



○ 感染症危機時における自他の情動・感情を認知・理解し、制御する能力

- ・ 自己を分析・認知・管理する能力
- ・ 共感性・社会性



○ 感染症危機時において、人材・組織を管理する能力

- ・ 組織を管理・指揮する能力
- ・ 人材を育成する能力
- ・ 資源を管理・運用する能力



○ 感染症危機時において、情報収集・分析し、戦略や方針に繋げる能力

- ・ 的確な情報を求め、収集できる能力
- ・ 分析・評価された情報を解釈する能力



*令和5年度厚生労働科学研究（国土班研究（23HA2016））で作成したコンピテンシー案を踏まえて、厚生労働省が再定義

実地研修・対面研修

1月21日に実地研修、22日から24日までの3日間にわたり対面研修が実施されました。全国12県から集まった16名の研修生が参加し、活発なディスカッションが行われました。

